

令和元年度 事業報告

1. 事業概要

北広島市シルバー人材センターでは、会員の経験や技能を活かし、地域社会の支え手として、高齢者の就業や社会貢献活動を通じた活力ある地域社会づくりを目的に事業運営を図ってまいりました。

さらに、地域社会からのシルバー人材センターに対する大きな期待に応え、地域に根ざすため、会員の拡大が喫緊の課題ととらえ全国シルバー人材センター事業協会の「第2次会員100万人達成計画」に基づき、平成30年度に策定した「会員拡大計画」により会員増加を図るべく様々な取り組みを実施してきました。

令和元年度は事業目標として、会員数562人、受注金額222,000千円を掲げ、会員の拡大、就業機会の開拓に向け取り組みました。結果は、会員数540人（入会会員数83人、退会会員数59人）、受注金額約222,229千円、就業率80.0%となりました。

令和元年度の主な事業実績を前年度と比較しますと、登録会員数は24名増加しており、受注件数については若干増加、受注金額もほぼ横ばいとなり、就業延人員については若干減少しております。

受注金額の内、請負委任事業では、公共、企業及び家庭部門ともほぼ横ばいの状況で、請負委任事業全体で見た場合、前年度比約1.6%増となりました。就業率は派遣事業を含めると前年度より3.3ポイント低くなっております。

また、一般労働者派遣事業では、市内10カ所の事業所で派遣労働会員75人が就業し、派遣受注金額は約25,345千円の前年比87.8%で減少となりました。

令和元年度の事業運営にあたりましては、ご支援、ご協力をいただきました市民・企業・団体・北広島市並びに会員の皆さんに厚くお礼申し上げます。

区 分	令和元年度	平成30年度	比較増減	対前年度比
登録会員数	540人	516人	24人	104.7%
就業実人員	432人	430人	2人	100.5%
就 業 率	80.0%	83.3%	△3.3%	96.0%
就業延人員	41,624人日	43,585人日	△1,961人日	95.5%
区 分	令和元年度	平成30年度	比較増減	対前年度比
受注件数	2,363件	2,328件	35件	101.5%
受注金額	222,229千円	222,611千円	△382千円	99.8%
請負委任事業	196,883千円	193,745千円	3,138千円	101.6%

公 共	99,135 千円	96,153 千円	2,982 千円	103.1%
企 業	64,544 千円	63,908 千円	636 千円	101.0%
家 庭	24,892 千円	25,135 千円	△243 千円	99.0%
独自 事業	8,312 千円	8,549 千円	△237 千円	97.2%
派遣事業	25,345 千円	28,866 千円	△3,521 千円	87.8%
公 共	9,714 千円	9,150 千円	564 千円	106.1%
企 業	15,631 千円	19,716 千円	△4,085 千円	79.3%

2. 事業の実施内容

(1) 事業の普及啓発と就業機会の拡大

- ① センターの会報「ふれあい」を毎月、「ふれあい特集号」を8月及び3月に発行し、センターの事業実績や就業情報、各種講習会、安全就業などを周知するとともに、地区懇談会における質疑内容や新規入会者の就業体験記等を掲載し、情報提供を図りました。

また、毎月発行される北広島市の広報「広報北広島」の専用スペースを活用し、入会説明会やシルバーふれあい祭り、木工展示販売会、刃物研ぎ講習会、企業展等について掲載し、会員の拡大、市民・企業などへの普及啓発に努めました。

- ② センターの社会貢献活動として、6月22日に「一日奉仕デー」の実施を計画しましたが雨天により中止となり、改めて10月5日に行うこととしましたが同じく雨天により中止となりました。

なお、市立保育園等への花苗寄贈については、園児と会員とが一緒に園内の花壇やプランターに植込み作業を行いました。

- ③ 5月15日から17日までの3日間、エルフィンパーク交流広場において「第19回シルバーふれあい祭り」を開催し、カフェコーナーやミニコンサート、そば打ち実演など、市民との交流を図るとともに、刃物研ぎや花苗・腐葉土・木工品等の販売などセンターの独自事業のPRに努めました。

- ④ 10月の全国統一シルバー人材センター事業普及啓発促進月間には、エルフィンパーク交流広場において、役員と職員による普及啓発用リーフレット等を活用した街頭啓発活動を行いました。

また、全会員による一人一会員入会運動、9月17日から9月20日までの4日間、市役所5階展望ロビーにおいて木工作品展及び普及啓発パネル展示のほか、10月3日から5日までの3日間、エルフィンパーク交流広場木工展示販売会や高齢者就業促進パネルの展示など就業機

会の拡大・会員の拡大に努めました。

- ⑤ シルバー活動センター及び大曲ふれあいプラザの指定管理者として、施設の適切な管理を行うとともに、市民を対象に毛筆宛名書き講習会や刃物研ぎ講習会、企業展などの自主事業を開催するなど親しみやすい施設運営とセンター事業の普及に努めました。
- ⑥ ホームページは、入会案内やイベント情報など内容を随時更新しながら、新しい情報の提供及び発信、情報公開に努めました。
- ⑦ 未就業会員及び就業機会の少ない会員に対する相談を随時実施し、就業機会の提供に努めました。
- ⑧ 8月下旬には、総合体育館において市主催の「元気フェスティバル in きたひろしま2019」に参加し、さらに札幌駅前地下歩行空間において北海道シルバー人材センター連合会の主催による「シルバーフェスティバル」にも参加し、木工品及び手芸品の展示販売を行いました。
- ⑨ 市のボールパーク新球場の建設決定により、2023年3月新球場の開業予定に伴い会員就業等に向けた企業訪問を行いました。

(2) 安全就業の推進と健康管理

- ① 安全は最優先事項です。安全就業対策基本計画に基づき「安全就業第一、事故ゼロ」を目標に事故防止対策及び安全教育の推進を図りましたが、傷害事故3件、賠償事故1件が発生しました。
- ② 安全委員会では、7月から10月まで、安全委員と理事による就業現場の安全パトロールを実施し、就業実態の点検、安全上の注意等を行い、安全就業の指導に努めました。
- ③ 草刈班や剪定班など職群班を対象に講習会を開催し、機械器具の取扱い、危険予知行動と事故防止の強化に努めました。
- ④ 安全就業を推進するため、4月に安全大会を開催し、安全就業宣言を行いました。

また、安全就業と交通安全に係る標語の募集を行い安全に対する意識啓発に努めました。標語募集の結果、安全就業標語個人の部に28点、職域班の部に18点、交通安全標語個人の部に26点、職域班の部に22点の応募があり、優秀作品を表彰しました。

安全就業講習会では、「あなたの体力年齢をチェック」を開講しました。

- ⑤ 北広島自動車学校の協力で、4月には「シルバードライバー交通安全教室」、1月には、「冬道の安全運転講習会」を開催し、自動車の運転技術の向上、安全運転に向け、多くの会員が貴重な体験をしました。就業中の交通事故は、発生していません。
- ⑥ 特定健診など定期的な健康診断の受診を奨励するとともに、夏場にお

ける就業時の体調管理については、特に熱中症に注意するよう呼びかけました。

(3) 適正就業

臨時的かつ短期的な就業、軽易な業務に係る就業機会を確保し、適正就業の遵守に努めました。

(4) 一般労働者派遣事業

北海道シルバー人材センター連合会北広島市事務所として一般労働者派遣事業（シルバー派遣事業）を実施し、派遣登録会員の就業機会の拡大を図りました。

(5) 会員の増強と知識・技能の向上

- ① 入会希望者に対して定期的に説明会を開催し、新規会員の入会促進に努めました。令和元年度に入会した会員は83名でした。
- ② 就業機会の拡大及び後継者の育成を推進するため、網戸張り、刃物研ぎ、剪定、冬囲いなど各種技能講習会を開催し、知識・技能の向上を図りました。
- ③ 新規会員の加入促進を図るため、市民を対象とした就業体験講習会として、刃物研ぎ講習会を開催しました。さらに北海道シルバー人材センター連合会の主催による「就業体験」として、センター窓口受付及び清掃、花壇づくり、腐葉土製品の袋詰め、秋野菜の収穫体験などを開催しました。
- ④ 「会員拡大計画」の目標会員数の達成を目指し、計画を実現するため「入会促進の取組み」やゴールド会員制度導入による「退会抑止の取組み」、「夫婦会員制度」など具体的取組事項に重点を置き、会員の増加に努めました。

(6) 組織の強化と事務局体制

- ① 理事会のほか、理事専門部会、各委員会を開催し、事業の適正な運営と組織の活性化に努めました。また、11月7日には北海道シルバー人材センター連合会道央ブロック役員研修会に8名が参加し、知識の高揚と意見交換を深めました。
- ② 地域班長連絡会議、地区懇談会を開催し、班長及び会員から意見等をいただきながらセンター運営に努めました。
- ③ 北海道シルバー人材センター連合会や道内の各センターとの連携を図るとともに、職員として日常業務の円滑な遂行のために必要な知識、情報を得るため、安全就業推進員研修会、業務担当者研修会等に参加し、

自己研鑽に努めました。

- ④ 入会説明会に理事が持ち回りで出席し、会員の生の声を参加者に伝えるなど役員が積極的に事業運営に参画しました。

(7) 会員の福利厚生

北広島市シルバー人材センター親睦会との連携を図り、日帰り研修、新年交流会など会員の交流事業を実施しました。

(8) 独自事業の推進

- ① 就業機会の拡大を図るため、独自事業として花苗事業・腐葉土事業・木工品事業の3事業に取り組み販売額の増加に努めました。

花苗は、公共施設・学校関係への販売のほか、シルバーふれあい祭りや花市、ハウス販売・秋野菜の収穫祭などで実績を伸ばしました。

腐葉土は、その品質が市民から高く評価されており、新聞への折り込みチラシによる予約販売及びイベントでの販売を実施しました。

木工品は、消費者ニーズにあった作品づくりが好評で、エルフィンパーク交流広場や札幌駅前地下歩行空間での木工展示販売会を実施しました。

- ② 腐葉土及びブルーベリー試験栽培用地については、ボールパーク建設に伴う移転が必要となったことから市と協議し、移転先（富が岡地区）が決定したため11月に移転を完了しました。

(9) 財政基盤強化対策

安定した事業の運営と経費の節減を基本に財政基盤の強化に向け、北広島市に要望書を提出し、補助金の確保や公共事業の発注など支援を要望したほか、会員及び役職員が一丸となって、企業及び一般家庭からの受注拡大を目指して就業拡大のPRに努め、就業開拓を行いました。

以 上。